

NPO法人 人と自然の会 25年の歩みそしてこれから

北方唯男・大山高子・乾慎一・神山久枝・佐藤健一・遠藤ふま子・藤原玉規・
松生昭子・中嶋かよこ・能勢公紀

1994年の人と自然の博物館（以下ひとと自然）の養成講座から始まり、人と自然の会が誕生しました。数年後には養成講座がなくなり、私たちが自主的に会員募集をして会運営を続けてきました。最初はボランティアデーでしたが、1997年には名称をドリームスタジオに名を変えて活動を続けています。2019年12月15日(日)のドリームスタジオは何と261回を数えています。この間、1999年に博物館関係としては初めてのNPO法人化、続いてひとと自然の協定書の締結、これも博物館関係では初めてです。それ以降はひとと自然を中心として活動を続けています。



2004年の会の10周年には赤とんぼコンサートをホロンピアホールで実施し、2014年の会の20周年にもホロンピアホールでスーパードリームスタジオを実施し、両イベントとも大勢の方々に来場していただきました。また、博物館館外でも出張セミナーや受託セミナーを数多く実施してきました。



今年度人と自然の会が25年目になり、これまでの活動を皆様へお知らせしたい、そして未来へ繋げたいとの思いから第15回共生のひろばに参加しました。12月から打合せを何度もやり、25周年イベントということととにかく目立つ出し物をやろうとみんなの意見がやっとまとまりました。展示用の黒ボード2枚に25周年の25の数字を大きく書き、その中にこれまでの活動イベントを書き入れるとのアイデアが生まれ、それからは展示物の進捗がドンドン進んでいき、2月の初めには

完成しました。まさにアイデア勝負、目立ちがりやの高齢者たちである。

研究成果の発表ではないですが、私たちの活動成果を満載した素晴らしい展示になったと思います。もちろん来館者の皆様へのアピール度も満点になりました。会の存在を皆様へお伝えでき、これからもひとと自然と共に活動を続けていきたいと思っています。

